

平成27年度の協働パイロット事業は、100万円の予算の範囲内で1事業あたりの予算枠を設けないこととし、13事業の提案を受け付けました。

今年度は、市役所各課等から、7件の課題テーマが示されたものの、応募は4件に留まったことから、静岡市の抱える課題を解決するためには、より多くの市民活動団体との協働事業の実施に向け、いっそうの広報や情報提供が必要であることが分かります。

また、今年度の採択事業から2年間の事業継続が可能になったことから、審査では、「協働にふさわしい事業か」、「本格実施（継続実施）への発展性が見込める事業か」の2点について、特に重点を置き審査を行いました。

提案の13事業を審査した結果、予算の範囲内において、「協働パイロット事業にふさわしい」と判断した提案は、以下の4事業とし、平成27年度協働パイロット事業として採用するよう市に提案しました。

1 『移住歓迎プロジェクトの受け皿としての「ツーリストセンター」の運営』

特定非営利活動法人 複合力

2 『障がい児・者が専門機関から地域歯科医院へ円滑に移行できるように』

NPO法人 ホスピタル・プレイ協会 すべての子どもの遊びと支援を考える会

3 『丸子宿発！語り部MAPでまちあるき』

特定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会

4 『平日限定日本平動物園ステッカー』

特定非営利活動法人 カンテラ

【採用（不採用）の理由】

◎『移住歓迎プロジェクトの受け皿としての「ツーリストセンター」の運営』 <<採択>>

特定非営利活動法人 複合力

静岡市の抱える「人口減少問題」の解決のため、首都圏からの移住を促進するために重要な「移住希望者の不安を取り去ること」、「スムーズに移住するための支援を行うこと」の具体策を示した提案であり、これまで、貴団体が清水区両河内地区において取り組まれてきた地域振興を活かし、今回、「移住コンシェルジュ」としての事業提案をされたことを高く評価しました。

貴団体の提案は、地元自治会や市とタッグを組み、長い時間をかけ成功に導くものであると期待できます。すぐに取り組めること、調整が必要で時間がかかるもの等、様々であると思いますが、「協働」の良さを最大限活かせるよう、貴団体の力を発揮してください。

なお、協働事業と直接関係ありませんが、プレゼンの中で「両河内では、Wifi等のインフラの整備が遅れている」との発言がありました。しかし、今後、移住を推進していく上で、それを逆手に

取り「色々と揃っていない不便さ」を武器に変え、事業を展開されることも魅力であると感じています。

◎『障がい児・者が専門機関から地域歯科医院へ円滑に移行するために』 <<採択>>

NPO法人 ホスピタル・プレイ協会 すべての子どもの遊びと支援を考える会

障害者歯科保健センター（健康づくり推進課）における課題を的確に捉え、NPO・歯科医師会・市の役割分担を明確に示した、協働にふさわしい企画提案であることを高く評価しました。

昨年度、採択した「障がい児・者に対するやさしい歯科治療」を本市に根付かせるため、有効な事業であり、その実現可能性の高さも高評価の理由の一つになりました。

今回の採択で、協働による効果を確認できると思います。事業所管課と事業スキームを組み上げ、パイロット事業に留まらず、本格事業に発展させてください。

◎『丸子宿発！語り部MAPでまちあるき』 <<採択>>

特定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会

地域における課題を的確に捉え、その解決のための方法を分かりやすく表現した、地元の皆様を巻き込み実施できる発展性の高い事業であると感じました。

反面、「協働事業のふさわしさ」といった点で、少し市の役割が弱い（市の役割の主流が経費負担になっているのではないか。）といった指摘も審査会ではありました。そのため、事業実施に当たっては、市との役割分担を再検討され、お互いの力を最大限に発揮できるようにしてください。

また、貴団体は、すでにくつかりの活動実績があるため、その経験とノウハウを十分に本事業にも活かし、ブラッシュアップしてください。

◎『平日限定日本平動物園ステッカー』 <<採択>>

特定非営利活動法人 カンテラ

子どもたちの夏休みの思い出づくりとして、とても良いプランであると感じました。

ステッカーも友達に自慢できるような仕上がりになるといいですね。

フリースタイルの実演場所として、特に夏場の活用の少ない山頂広場を選ばれたこと、また、山頂広場では、ボールの使用が可能であることなどを、事前に動物園側と調整を進められた点が、課題テーマを的確に捉え、実現可能性の高い企画提案につながったと感じました。

注意事項としましては、ステッカーの作成に企業からの協賛金が入るとのことでしたので、協働パイロット事業の委託費との切り分けを明確にしてください。

【注記】

今回採択された4つの協働事業は、2年間の継続実施が可能となっておりますが、継続を検討する際には、「パイロットから本格実施へと発展できる事業か否か」という点に重点を置いてください。

●『障害者が主役の防災訓練』＜不採択＞

さくらの架け橋会

視覚障害の自立につなげるための第一歩に「防災訓練」をご提案された視点は、「社会的な課題の解決」のため、大変素晴らしいものであると、委員全員が共感しました。

ただ、実際の防災訓練実施に関する詳細に関し、不明瞭な点があり、「実効性」に関する評価が厳しいものとなりました。

今回は次点ということで、事業採択に至りませんでした。が、「先ずはやってみよう！」という気持ちを大切にされ、活動実績を一つひとつ積み重ねていかれることを期待しています。

●『障がい者が活躍する市民活動広報誌づくり』～クラウドファンディングの利活用を

目指して～＜不採択＞

パソコンわかばくらぶ

「障がい者の雇用促進」のため、「市民活動に関する広報誌づくり」に着目し、そこにクラウドファンディングを活用していこうという企画提案に対し、「社会的課題の把握」という点で、高い評価をしました。

ただ、企画提案の中で、「広報誌を作るのか」、「クラウドファンディングの実効性は確かか」という点を疑問視したため、「実効性」が厳しい評価となりました。

今回は事業採択に至りませんでした。が、今後も障がい者の方々の就労支援や賃金向上のため、新しい取り組みへの挑戦を続けていかれることを期待します。

●『こんにちは赤ちゃん訪問とお誕生日カードプレゼント』＜不採択＞

特定非営利活動法人 丸子まちづくり協議会

丸子地区の皆様のパワーが感じられ、バースデーカードを贈る取り組みは、より地域の温もりを感じました。

地域において、これまでも取り組まれている事業であるため、「実効性」については高い評価ができますが、反面、「先駆性を活かした事業か」と「協働にふさわしい事業か」という視点での評価に対しては、厳しい意見も出されました。

今回は事業採択に至りませんでした。が、今後も丸子地区のまちづくりのため、「こんにちは赤ちゃん訪問」を続けていただきたいと考えます。

●『災害時子どもリーダー体験教室』＜不採択＞

特定非営利活動法人 夢楽団・自然体験基地

東日本大震災における教訓を静岡市においても活かしていこうとされている取り組みには、委員全員、共感しました。

これまでも取り組まれている事業であるため、「実効性」については高い評価ができますが、反面、市の役割が不明瞭であったことから「協働にふさわしい事業か」という視点での評価に対しては、厳しい意見も出されました。

今回は事業採択に至りませんでした。震災はいつ起こるか分からないことは間違いないため、いざという時のため、子どもたちに対する「防災教育」を地道に続けていただきたいと思います。

●『高齢者が高齢者を支える歌ぶりボランティアを応援しよう』<不採択>

特定非営利活動法人 医療・福祉実務者団体

高齢者が元気で暮らせるため、「歌ぶり」を活用するという着眼点は、「社会的課題の解決」という点で評価しました。

ただ、「歌ぶり」を通じた活動を既に実践されている点と、「歌ぶり」を行うことで得られる介護予防の効果に関する科学的根拠が弱かったことや、市の役割が不明確であったことで「実効性が十分に感じられるか」と「協働にふさわしい事業か」という視点での評価に対して、厳しい意見が出されました。

今回は事業採択に至りませんでした。高齢者の笑顔のための活動を続けていただきたいと思います。

●『音楽活動（歌と楽器演奏）によって認知症を予防しよう！』<不採択>

四季を歌う会

「心のケア」のため、ハンドベルやトーンチャイムを使った音楽を活用されている点は、評価に値したものであると感じています。

ただ、企画提案の目的が、実験的な取り組みが中心であるように感じられたことと、市の役割がコンサートや練習のための会場提供や経費負担に偏っていたため、「協働にふさわしい事業か」という視点での評価に対して、厳しい意見も出されました。

今回は事業採択に至りませんでした。"認知症予防"という意味深いミッションの達成のため、活動の輪を広げていただきたいと思います。

●『今考えてみよう？私の食べ物が私の命！！』<不採択>

特定非営利活動法人 日本細胞矯正普及協会

「食を通じ人々を健康に導きたい」という想いの強さを、とても感じました。

ただ、ご提案いただいた「4段階の学び」を通じた医学的（科学的）効果などが不明瞭であり、現時点では、市との協働は難しいと判断しました。

今回は事業採択に至りませんでした。「食の効果」を立証しつつ、活動の輪を広げていただきたいと思います。

●『静岡市民の老後を支えるコンパスをうみだそう！』<不採択>

特定非営利活動法人 医療・福祉実務者団体

多くの人々が不安を感じる「認知症」に着目し、その理解と対策といった社会的課題の解決の必要性に着目した点を高く評価しました。

ただ、ご提案いただいた「センター方式」については、具体性に欠けている印象があり、「実効性が十分に感じられるか」という視点での評価に対しては、厳しい意見も出されました。

今回は事業採択に至りませんでした。「認知症の方と共に暮らすまちづくり」を実践していた

だきたいと考えます。

●『日本平で動物をみて、さわって、つくって遊ぶバルーンアート』〈不採択〉

**特定非営利活動法人 医療・福祉実務者団体**

日本平動物園においては、「風船の使用が禁止」されているにも関わらず、風船を使った企画提案を出されたことに対し、準備不足を感じ、厳しい評価となりました。

協働相手にしようと思定している、市の担当課の意見や事情も、事前に確認していただければ、もっと良い提案ができたのではないのでしょうか？

今回、貴団体からご提案いただきました他の2つの企画提案に対しても同様ですが、協働事業の意味を今一度お考えいただき、来年度以降、再度、チャレンジしていただけることを期待しています。